



2017年9月15日

住宅の耐震化をキーワードに最新の家づくりを紹介する住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」**入場無料**
住宅の耐震化や省エネ住宅、スマートウェルネス住宅の最新情報を発信
9月30日(土)・10月1日(日) 京都パルスプラザ 「木と住まいの大博覧会」を同時開催

◆ ニュースポイント ◆

ナイス株式会社(社長:平田 恒一郎、本社:神奈川県横浜市)は、9月30日(土)・10月1日(日)の2日間、「住まいの耐震博覧会」を京都パルスプラザで開催いたします。

「住まいの耐震博覧会」は、地震に強い家づくりをテーマに耐震診断や耐震補強をはじめ最新の家づくりに関する情報を、国内外の住宅関連事業者が一堂に介し一般ユーザーからプロユーザーに対して幅広く発信する住宅総合展示会です。

当日は、木材を使用した住宅や中・大規模木造建築物、木製品、木育、学術研究など、木に関する最新の製品・技術・情報をふんだんに紹介する国内最大級の木材総合展示会「木と住まいの大博覧会」を同時開催いたします。



京都で初開催となった昨年の会場の様子

必ず起こる大地震、住宅の耐震化が急務

京都府周辺には1927年に丹後地震を起こした郷村断層をはじめ花折断層や京都西山断層など強い地震を起こす可能性がある22の活断層が存在しており、京都府内全域でマグニチュード6クラスの地震発生が想定されています。特に、京都市内に存在する花折断層では最大震度7が想定され、その被害は最大で死傷者81,300人、建物被害281,200棟に及ぶとされています。地震防災対策は喫緊の課題と言えます。

京都府では、今後10年間の府内の住宅、建築物の耐震診断・耐震改修の計画などを定めた「京都府建築物耐震改修促進計画」を今年2月に改訂しました。その中で、耐震診断や耐震改修をはじめとする住宅の減災に向けた総合的な取組などを推進し、耐震性能を満たす住宅の割合を2015年度の83%から2025年度までに95%に引き上げることを目標としています。木造一戸建住宅については、「木造住宅耐震診断事業」の一環として各市町村が耐震診断士を派遣し耐震診断を実施しています。これまでに累計9,000棟を超える住宅の耐震診断が実施され、約2,900棟の耐震改修が行われています。

◆住宅の耐震化や防災の最新情報を発信

会場では、京都府をはじめ大阪府、兵庫県などの耐震促進化に向けた施策を紹介します。そのほか、ご自宅の耐震性を分かりやすく知ることができるよう、動く耐震模型を使って建築年によって実際の揺れ方が違うことなどを確認しながら、説明員が耐震性能の違いを解説します。

最新の耐震改修方法や耐震補強部材などについて、天井や床を壊すことなく住まいながら補強することができる木質繊維ボードや石膏ボードによる耐震補強壁や、開口部に建物の外側から補強したり、基礎を強固にする補強部材などを、住宅の躯体模型への施工例を通じてご紹介します。

NPO法人住まいの構造改革推進協会では、ご自宅の耐震性や耐震診断、耐震改修の相談に応じます。そのほか、東日本大震災の揺れを再現した地震体験車で実際の揺れを体験し、防災意識の向上を促します。



動く耐震模型で旧耐震基準と新耐震基準の耐震性の違いを学べます

◆ZEHを徹底解剖

地球温暖化対策の新しい国際ルールとなるパリ協定において、日本は2030年の温暖化ガス排出量を2013年比で26%の削減を掲げています。中でも家庭部門では40%の削減が必要とされており、国はZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及を促進しています。

会場では、現行の省エネルギー基準とZEH基準など、断熱材やサッシなどを施工したミニ躯体を用い、それぞれの外皮平均熱貫流率(UA値)に応じた仕様の違いを「見える化」して断熱性能の違いを解説します。合わせて、ナイスグループが推奨する仕様をパッケージ化して紹介します。



断熱材の違いによる調湿性や遮音性について体験できるくらべルーム

◆健康寿命の延伸に寄与し環境にも優しいスマートウェルネス住宅

超高齢社会となった日本において、日常的に介護を必要とせずに自立した生活ができる期間である「健康寿命」の延伸は最重要課題の一つとなっています。健康長寿社会の実現は人々の幸せに直接関わる課題であると共に、医療・介護費の抑制による財政健全化など社会全体に良い影響を与えるため、国は「スマートウェルネス住宅」の普及を推進しています。

ナイスグループが手掛ける、オリジナルの金物接合による在来軸組工法「パワービルド工法」を用いた木造住宅の実物大躯体にて、スマートウェルネス住宅を紹介します。この住宅は耐震性能や断熱性能、省エネルギー性能など、住宅性能表示制度における最高レベルの住宅性能を標準仕様としています。ここでは、環境や健康に優しい天然素材である木質系繊維断熱材など、普段は見ることのできない実際の断熱材の施工状態についても確認できます。

スマートウェルネス住宅ブースでは、木と鉄、コンクリートの熱伝導性能の違いを体験できるコーナーや、リビングやキッチン、寝室などの空間展示などを通じて、様々な効能を持ち健康に良い影響を及ぼすとされる木を効果的に取り入れた暮らしについて紹介します。



スマートウェルネス住宅仕様の実物大躯体を展示



キッチンや寝室の空間展示より、木のある暮らしについて紹介

◆安全性や機能性、省施工性に優れた商品をご提案

国内外の建材・住宅設備機器の有力メーカーが一堂に会し、外壁や水回り、屋根材など住宅を形づくるあらゆる商品を紹介します。展示ブースでは、最新の商品をプロユーザーだけでなく一般ユーザーにも分かりやすいように様々なセミナーやデモンストレーションにより紹介します。

ナイスグループの基礎資材、副資材を扱うプライベートブランド「ZENIYA」では、大型システム収納などの省施工性に優れた商品や耐震壁と制震壁の特長を兼ね揃えた最新の壁補強材などを紹介します。また、国産材のスギを使用した内装材の新商品を展示します。



メーカーブースではデモンストレーションで新商品を紹介

◆開催概要◆

名 称：住まいの耐震博覧会

日 時： 9 月 30 日（土）10：00～17：00
10 月 1 日（日）10：00～16：00

入場料：無料

会 場：京都パルスプラザ

主 催：ナイス株式会社

協 賛：木材・建材・住宅設備機器有力メーカー

後 援：ナイスパートナー会連合会、ナイスわくわくクラブ、素適木材倶楽部

（一財）強靱な理想の住宅を創る会、（一社）木と住まい研究協会、NPO法人住まいの構造改革推進協会

ホームページ：<http://www.nicefair.com/>

この件に関するお問い合わせ先*****

ナイス株式会社 広報室 森・内野 TEL：(045) 501-5048

〒230-8571 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8F